

# 北陸新幹線敦賀延伸・リニア中央新幹線名古屋開業に向けて（影響対策行動計画）の概要

## 北陸新幹線敦賀延伸・リニア中央新幹線名古屋開業に向けて ～住む人・訪れる人双方が誇れるまちを創る～

### 1. 計画策定の目的

本計画は、北陸新幹線敦賀開業（令和5年）やリニア中央新幹線名古屋開業（令和9年）といった高速鉄道整備による金沢市への影響を見極め、その効果を最大限に引き出していくため、有識者による「影響対策検討会議」、庁内各課による「影響対策検討プロジェクト」を開催し、影響の整理や実施すべき施策を議論し、とりまとめたもの。

### 2. 計画の推進

計画は、令和2年度（2020年度）～令和8年度（2026年度）までの7カ年で取り組むべき事項を示すものであり、庁内各課において施策を推進する。  
令和5年（2023年）に予定されている北陸新幹線敦賀延伸後の時期を目処に、計画全体の取組み状況や施策の効果を検証し、必要に応じて、本計画を見直すこととする。

### 3. 新幹線延伸及びリニア開業により考えられる影響

北陸新幹線敦賀延伸により考えられる影響	
基本的事項	・北陸や金沢への関心の高まりと来街者の増加 ・関西圏・中京圏との所要時間短縮。他方、敦賀乗継による心理的制約の発生 ・飛行機を介した広域交通網の縮小
観光分野	・広域周遊観光の手段・エリアの充実 ・外国人観光客の増加
宿泊産業・都市開発	・宿泊施設の供給拡大と多様化 ・都市開発の加速と良好なまちなみの喪失 ・観光業をはじめとした労働力の不足
経済活動・MICE	・MICE需要の増加 ・企業進出の加速や拠点の統廃合
市民生活	・大都市圏への転出者の増加 ・進学や移住による転入者の増加 ・市民と観光客の交流の増加 ・観光客の増加による市民生活への影響の継続・拡大 ・並行在来線の役割の変化と経営への影響

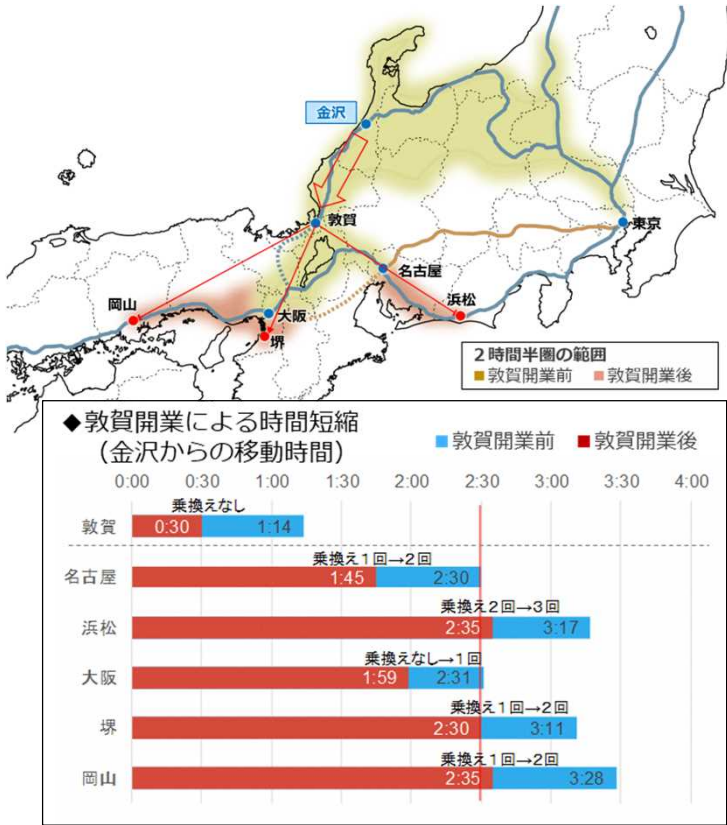
リニア中央新幹線名古屋開業により考えられる影響	
	・リニア沿線地域の発展と新しいビジネススタイル・ライフスタイルの創造・普及 ・都市・地域間競争の拡大

### 4. 計画の目標像

～金沢と他地域とのネットワークによる  
「対流」を活用しつつ、世界に開けた、  
住む人・訪れる人双方が誇れるまちを創る～

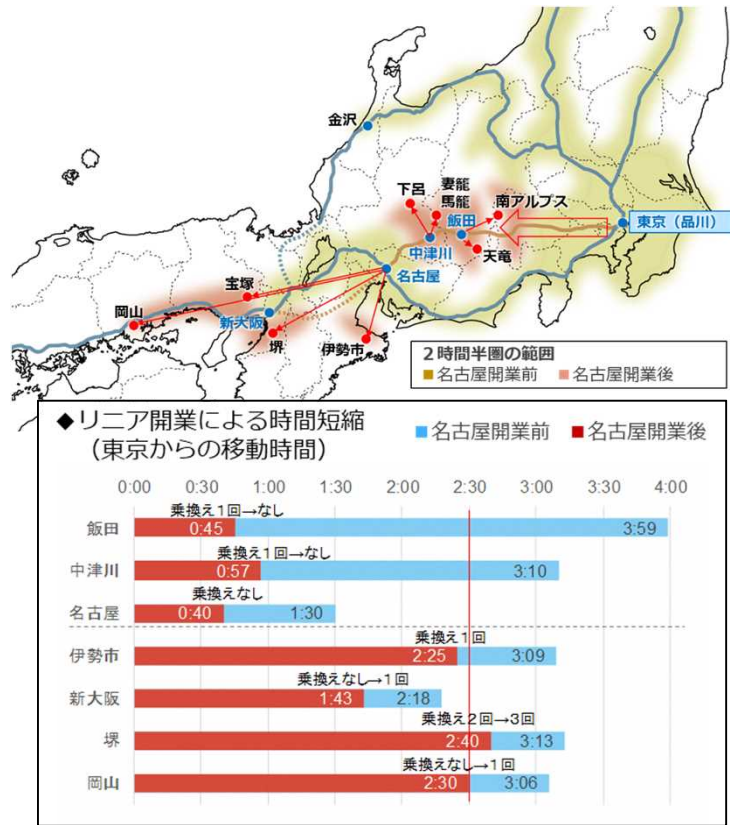
北陸新幹線・リニア中央新幹線による新たな環状ネットワークの構築による他地域と金沢の新たな関係性のなかで、世界の「交流拠点都市金沢」の実現を図るため、目標像と9本柱の施策を整理した。

〔新幹線敦賀延伸による時間短縮（金沢発）〕



出典：【新幹線所要時間】収支採算性及び投資効果に関する詳細資料、国土交通省（2012）  
※その他の必要時間は時刻表を参照、敦賀駅での乗換え時間を10分と設定  
※速達タイプの金沢～敦賀間の停車駅は、福井のみと想定

〔リニア名古屋開業による時間短縮（東京発）〕



出典：【リニア所要時間】長野県リニア活用基本構想、長野県（2014）  
※その他の必要時間は時刻表を参照、リニア駅での乗換え時間を15分と設定

#### 計画策定の経緯（検討経過）

令和元年	7月	第1回	影響対策検討会議
		第1回	影響対策検討プロジェクト
	10月	第2回	影響対策検討会議
		第2回	影響対策検討プロジェクト
	11月	第3回	影響対策検討会議
令和2年	1月	新幹線延伸・リニア開業影響対策検討会議報告書 市長提出	
	2月	第3回	影響対策検討プロジェクト
			「行動計画」策定

# 北陸新幹線敦賀延伸・リニア中央新幹線名古屋開業に向けて（影響対策行動計画）の概要

## 5. 施策の方向性

施策の内容		実施すべき施策（一例）
〔文化・学術・産業〕		
1. 金沢の歴史・文化を活用し、魅力あるまちを創る	①民間活力を生かしながら、美しいまちなみを守り、創出 ②市民や事業者の建築やまちづくりに関するリテラシーの向上 ③金沢の歴史、伝統、文化に触れ、体験・実践できる環境づくり	・保存と開発の調和に向けたまちづくりを推進 ・まちなかにおける用水の修景を促進 ・「木質都市・金沢」を創出
2. MICE開催・企業誘致の促進	①ミーティングやコンベンション、文化スポーツイベントに加え、インセンティブツアーの誘致と受入体制の構築 ②立地の優位性（交通至便や災害リスクの低さなど）を生かし、企業の進出を促進 ③多様なオフィス空間（サテライトオフィスなど）の確保	・インセンティブツアーの誘致を推進 ・ユニークベニューの活用を推進 ・金沢A I ビレッジを形成し、まちなかでのクリエイター等の活動を促進
3. 市内産業の活性化とイノベーション	①新幹線による交流強化を生かし、地域企業や金沢に魅力を感じる企業家を育て、支え、集積 ②A I などの技術による企業、市民、観光客の利便性向上	・価値創造拠点を整備し、共創・成長するコミュニティの形成やクリエイターの育成、起業家の支援等を充実
〔市民生活〕		
4. 来街者増加と市民生活の良好な調和	①まちの美化・治安維持に向け、指導・監視に加え、「ナッジ」を強化 ②都市内の蓄積を生かした、歩いて楽しめる都市（ウォークアブル都市）の推進 ③市民のもてなし力の向上及び災害時における市民・来街者の安全の確保	・官民連携の会議において新たな計画を策定し、持続可能な観光を振興 ・簡易宿所等の適正な運営の指導を強化 ・駅西広場やまちなかの広場・公園等の公共空間を官民連携により活用
5. 転入者の地元定着・関係人口化、移住の促進	①進学や移住による転入者に対する、移住支援や居住支援の充実 ②金沢らしいライフスタイル（生活習慣）の継承、発信の強化	・まちなかで学生が文化に触れる機会を充実 ・転入者に対する、金沢らしいライフスタイル（生活習慣等）の発信を強化
〔交通〕		
6. 市内外の移動の円滑化・利便性の向上	①市内周遊の充実や混雑解消のため、まちなかの公共交通などの移動環境の不便を解消 ②新幹線、飛行機、クルーズ、高速バス、レンタカーなどの多様な交通モードへの対応	・フリー乗車券の利便性を向上 ・主要観光スポット周辺バス停の待合環境を改善 ・クルーズターミナル整備を契機としたベイエリアの回遊性を向上
〔観光〕		
7. 新たな市内観光の楽しみを創る	①主要観光地だけでなく、市内各所での周遊や体験型観光などを充実し、新たな魅力を提供するとともに観光客を分散化 ②季節や時間帯に応じた細やかな都市の魅力を発信	・ビッグデータやI C T等を利用し、観光動態（流動）を分析 ・最先端技術を活用し、観光客によるまちなかの混雑を緩和 ・魅力的な夜間景観を創出
8. 広域周遊観光・滞在型観光の拠点化	①広域交通網の充実を生かし、多様な観光ニーズに対応 ②まちの魅力や宿泊施設の充実を活かし、滞在型観光や二拠点生活の支援	・敦賀延伸沿線都市との連携プロモーションを推進 ・中・長期滞在する訪日外国人等を対象としたワーケーションを推進
9. 金沢の魅力を伝え、広める	①金沢の食や生活などの魅力や価値を伝えられるような見える化・情報発信の強化 ②県外(国外を含む)でのプロモーションなどの充実	・金沢中央観光案内所を活用した情報発信を強化 ・欧米豪における誘客プロモーションを強化